

第15回 第2分科会会議録(概要)		場 所	新宿区役所 第2分庁舎 1階 1-⑦会議室
日 時	平成18年1月25日 午後14時00分～午後15時50分	記録者	【学生補助員】 洪 岸本
		責任者	区事務局(青柳)
会議出席者： 32名 傍聴者 0名 (区民委員： 26名 学識委員： 2名 区職員： 4名)			
■配付資料 1. 第15回 新宿区民会議第2分科会 次第 2. 資料1 第14回 分科会会議概要 3. 資料2 中間まとめ(たたき台) 4. 資料3 前回指摘事項 5. 資料4 生きがいについて 6. 資料5 バリアフリーについて 7. 資料6 介護について 8. 次回開催通知 9. 中間発表会開催通知 ■進行内容 1. 開会 2. 中間のまとめに向けて 3. 中間発表会について 4. その他 5. 閉会 ■会議内容 【発言者】 ●：区民委員 ◎：学識委員 ○：区事務局 1 開会 ○：それでは分科会を始めます。 前回、第14回会議録の方で確認させていただきたいことがあります。会議録のp8、4班の発表の箇所ですが、7割の方が所得200万円以下というのは、介護を受けている方、ではなくて、高齢者の方の7割ということではよろしかったでしょうか。 ●：はい、そういうことです。 ○：それでは、65歳以上の高齢者の方の7割が所得200万円以下、ということで議事録を訂正させていただきたいと思います。			

2 中間のまとめに向けて

○：では、成富先生から資料2について説明していただきます。

◎：今のお話を聞いていて、高齢者の所得が少ない、厳しい状況であることが改めて分かりました。

中間まとめについてなのですが、報告書は次回11日までに四苦八苦しながらまとめていきます。今まで議論してきた内容をいかにまとめていくか、ということになると思いますが、形式としては、報告書と発表の二種類の案を出すことになります。

報告書の全体の構成をまとめてみました。資料2の「中間まとめ（たたき台）」を御覧ください。なるべく、話し合ってきた内容を素直に伝えられるように、今まで議論してきたことはそのとおりに、未検討の部分は未検討であると率直に見せると言うことでまとめてみました。

始めに、全体としての基本的な考え方を示して、その後個別のことに触れていきたいと思いました。個別の部分では、(1)では10年後どういった状況が望ましいのか、という概論的なことを示します。(2)では、現状と課題を示します。現実を踏まえ、その上で課題を取り上げる、というものです。(3)に解決策ですが、これまでの検討の中ではまだ整理が終わっていないところですので、解決にむけての方向性ということで、提言につながる考え方を示します。

まず、全体としての部分として、1, 2とたたき台を作ってきました。たたき台はたたかれるのが使命ですので、どうぞよろしくお願いします。

1. 議論の進め方についてですが、私たちがどういった考えで議論を行ったかを整理してあります。

『第2分科会では、「10年後の新宿で、私たちはどんな暮らし方をしたいのか」「それを実現するためにはどんな課題を解決・改善しなければならないか」という視点にたって、「健康、高齢、障害、介護」にかかわる暮らしのさまざまな課題について議論してきました。私たちは、まず議論を進めるための枠組みとして、1.「介護」、2.「生きがい」、3.「こころと社会のバリアフリー」という3つの大きなテーマを縦軸とし、それぞれのテーマごとに、「個人」「地域」「行政」という3つのレベルを横軸として課題や解決・改善の取り組みについて意見出し合いました。』

ここで、「こころと社会のバリアフリー」というのがありますが、バリアフリーというと、物理的な側面も大事ですが、第2分科会の議論の中では、こころと社会のバリアーについてどう対応していくかが大事ということだったので、「こころと社会」という点を付け加えました。

『議論は、参加者全員が5~10人ほどのグループにわかれ、ひとつのテーマにつき数回にわたって、グループの中で自由に意見を出し合い、話し合いの最後にグループごとに議論のまとめて発表し、それを再度全体として整理していくという方式で行いました。』

「中間まとめ」では、議論する中で生まれてきた私たちの共通の意見として、各テーマごとに、まず私たちの「基本的な考え方」を示し、次に新宿の現状とそこから私たちが暮らしの中で感じている課題を整理しました。最後に、課題解決・改善への取り組みについては、その方向性だけを示し、具体的な提言については、最終まとめに向けて、引き続き検討していくこととしました。』

2ですが、これまでの第2分科会の議論の中で、私たちが強く感じたこと、成果は、知らないことが実に多いということだと思います。ゲストの方や、他の委員方と話す中で、知らないこと、気づいていないことを発見した、多くの方がそのように感じられたのではないのでしょうか。より多くの区民の方にも、知る機会をもってもらうことができたらいという意見がでていました。この点が私たちの第2分科会の議論のポイントなのではないのでしょうか。そして、知らないことを知ったことで、はじめてその先にどうしたらいいのかと考えることができます。この点を強調したらどうかと思います。そこでタイトルも「2 今、私たちが感じていること」としてみました。

「新宿は、さまざまな生活スタイルや価値観をもち、さまざまな事情を抱えた人たちが暮らす「多様性」を特徴とするまちです。このまちで、誰もが、生きがいを感じながら心豊かに、できるかぎり自立して健康な暮らしをおくれるようにするために、これからの10年間、行政と住民がそれぞれの役割をにないながら、一緒になって、どんなことに取り組んでいけばいいのか。それを考えるために、私たちは、まず分科会参加者一人ひとりの個人的な願いと経験を語り合うことから始めました。個人的なことを語りあい、そこから共通の部分を見出し、地域社会全体の目標や課題を見つけ出そうとして議論を進める中で、私たちがまず実感させられたのは、同じ新宿というまちに暮らしていても、お互いよく知らなかった部分がたくさんあるということでした。私たちは、よりよいまちをつくっていくためにもっとも大切なことは、人と人の「つながり」であると考えました。そのつながりを作っていくには、何よりも、新宿には実にさまざまな暮らしの形があり、それをよく知り合わなければならない、これが私たちが最初に到達した結論でした。

介護、健康、障害といった問題についても、私たちには知らないことがたくさんありました。」

このあとに、これまでの分科会であった話の中で印象的なものを具体的にあげています。

「介護や高齢について、いくつか例をあげれば、公的介護保険制度ができて介護家族の負担はけっして小さくないこと、高齢者の多数は介護を受けずに暮らしているが、多くの人たちは高齢になっても社会的な負担を増やさないために自分の健康を保つための個人的努力をしていること、一人暮らし高齢者や高齢者世帯が増える中で、引きこもりなどの孤立した高齢者のことを気にかけて、どうしたら社会的なつながりの場に出てきてもらえるかと思案している人が多いこと、若い世代がいなくなり高齢化

が進む集合住宅団地で、高齢者同士が地域でのつながりを取り戻すために様々な努力をしていること、などです。また、障害については、仕事をしたい障害者はたくさんいるのに、雇用の現実はいわゆる厳しいこと、障害児と暮らす家族にとって、その子を育てることは負担ではなく、むしろ多くの人とのつながりをもたらしてくれる生きがいになっていること、などです。さらに、生きがいについての議論では、団塊の世代、特に男性の地域での居場所づくりや経験・能力を生かした活動の場づくりを真剣に考えている人が少なくないこと、誰もが気軽に生きがいづくりの活動に参加できるように、もっと身近な地域で、もっと自由に利用できる施設を多くの人が望んでいること、などです。また、新宿に多いといわれるホームレスの人たちと暮らしの場で接する機会の多い住民は、それぞれの立場で、彼らのことを真剣に考えていることもわかりました。

中間まとめでは、それぞれのテーマに関連して出された意見をできるだけ多く盛り込むようにしました。その中には、それを聞いた参加者が初めて気づかされたことが多く含まれています。私たちは、10年後の新宿のあるべき暮らしの姿とそれに向けての課題をまだ明確に描ききれませんが、気づかなかったことに気づくことで、新宿の明日を考える共通の姿勢を固めることはできたと、確信をもって言うことができます。より多くの区民の方々に、私たちと同じ「気づき」を経験してもらいたい、「区民会議」だけでなく、もっといろいろな「気づき」の機会をふやしていきたいというのが、今、私たちが一番感じていることです。」

ここまでが全体で、この後に先ほど述べたとおり個々のテーマについて前回しめしたものを整理していけばと思います。

表現については、まだこなれていない部分もあると思います。また抽象的に述べるより具体的に出た話を述べたほうが理解していただけると思い、例として述べたわけですが、ふれる例としては皆さんの中にもいろいろと意見があると思いますが、最初にお話したとおり、たたき台としてのものです。以上です。

○：ありがとうございました。ご意見ございますか。

前回の資料については基本的に了解いただいたわけですが、グループ発表の中で、追加が必要と思われる点についてご指摘いただきました。その点をまとめたものを資料3としてお出ししました。何かご意見があればお願いします。

- ：社会保障制度の充実をもっと強調する必要があるのではないのでしょうか。新宿区では特養に入りたい人が1000人ほど待機しているようです。保険制度では、サービスを利用したいときには、サービスが利用できるようであればいけません。現実には施設がなければ入ることもできません。国の責任、行政の責任で制度や施設をきちんと準備していくことを、あいまいにはいけません。
- ：資料を読みましたが、「私たちは、よりよいまちをつくっていくために最も大切なことは、人と人の「つながり」であると考えました。そのつながりを作っていくには、

何よりも、新宿には実にさまざまな暮らしの形があり、それをよく知り合わなければならぬ、これが私たちが最初に到達した結論でした。」とありました。しかし、資料を読む限り、マンションの住民のことが入っていないように思います。マンションの住民のつながりを求めても不可能だと思います。ここでは、「小さな一歩」ということで日常的な挨拶、とありますが、マンションの住民に対しては高いハードルです。私自身あいさつとう実践していますが無視されますし、生活も分かりません。このてんについて何にも触れていないのは納得いきません。

○：これらの資料は議論の中で出たものをまとめたものです。追加があればご指摘ください。決して意見を無視しているというわけではありません。

施設や制度の充実について、前回も含めてご意見をいただきました。この点について指摘があったということで、追加していくということを示しました。一方で、今回の区民会議は新宿区の基本構想、基本計画にどのように活かしていくかと言う点を議論いただく場であるとう点もご理解いただければと思います。

●：介護保険一つとってみても、国が示したものを地域で運用していく際、地域がどうしていくかで異なってくると思います。国の考え方ではなく、新宿区はどのように運用していくのか、ということがいま見えにくいように思います。そのこのところを見せて欲しい、ということ強調して欲しいです。

●：第2回か3回かで、介護保険を受ける方のデータを出していただきたい、と言いましたが、その答えは入っているのでしょうか。利用料一割負担のため、利用できない人をつかんで欲しいです。年金、収入が少ないため介護保険を利用していない人がいるはず。国の政策に右へならえ、ではいけないと思います。

○：今回の発表は、基本的には区が何をするという計画を発表する場ではないと考えています。これからの10年間について、区民会議から提言をいただき、区としての基本構想、基本計画を作っていくという点をご理解いただければと思います。したがって、今回のまとめの中で、区として、区がどういう考えで何をするかということが入ってなくてもやむを得ないのではないのでしょうか。この点について、区民会議として、区が何をすればいいのかという点を考え、提言していただくこととなります。

◎：現に介護保険を利用している方のデータというのは把握できるでしょうが、利用していない方のデータというのは当然把握できにくいものです。どの程度存在するかはわかりませんが、負担のことを考えて利用を控えている方も確実にいると思います。その点についても十分認識してほしいという点を指摘する必要もあるかと思えます。この中間発表は、行政が出す文章を作っているわけではなく、私たちが考えたことを表していくことが趣旨ですから。

●：マンションのことですが、小さいマンションですら交流は難しいと思います。まして、大きなマンションではなおさらだと思います。大きなマンションには、一つのまちと同じ位の人数がいます。そのようなマンションの中で、孤立化が進んでいるのは

恐ろしいことです。昔は共同浴場といった交流の場があり、ネットワークがありました。現在はますます個になってきていると思います。実際的にどうやったらそこに手が差し伸べられていくか、が問題でしょう。ぜひネットワーク作りをしていかなければならないと思います。10年後だけでなく、今すぐの課題でもあり、そこを触れていくべきではないでしょうか。

◎：新宿区は集合住宅が多いのも特徴です。今までの議論でも話題になっていました。確かに大きな課題だと思います。

今回の発表が最後ということではないので、これからの検討の中で、一人暮らしなどのテーマも含めて重要課題として組み込んだら良いかと思います。

●：マンションについては、住んでいる住民が自治会に入れれないなど問題があると思います。今後の大きな課題であると思いますが、今すぐの課題として、今、新宿区では地区協議会ができています。特別出張所ごとに地区協議会に問題提議していても良いのではないのでしょうか。

○：自治会、町会と言った自治の課題については、区民会議の大きなテーマとして、第6分科会の中に位置づけられています。もちろん第2分科会に関連する議題として、この後、議論していくということもできますが、第6分科会における議論の状況も見てはどうでしょうか。中間発表会は、他の分科会の検討状況を聞くと共に、意見交換の場でもあります。当日、第6分科会の方に、考えを示すということもできます。

また、目の前の課題ということであれば、その点について区や特別出張所、地区協議会でいっしょに取り組むということもできます。

●：10年後を見据えることを忘れないようにしなければならないと思います。今出来なくても10年後には出来ていることも、今出来ていても10年後には出来ないこともあるでしょう。

どうしても、今悩んでいることをすぐ解決したいと思いがちですが、10年後につなげて考えていかないと、個々の課題だけが羅列されてしまいます。

また、せつかく10年後のことを考えるのですから、新宿区を、東京都の中の自治体と考えるのではなく、もっと自由な自治性をもった区と考えていった方がいいと思います。そのところはどうかのでしょうか？

◎：第6分科会の大きなテーマになっていると思います。特別区の中には、区ではなく市になったほうが権限が広がり、もっと良い行政ができるという考えもあるそうです。まずは、中間の発表会の中で忘れずに第6分科会の議論の状況を見るということになります。

○：分科会の提言の中で、こういったことをやりたい、でも区の権限ではできないということで、触れるということもあると思います。また、この点を中間発表会で第6分科会に意見を述べるということもできるかと思います。この場で、こうですとお答えできる課題ではありませんので、提言を頂いた上で、区として取り組んでいくかどうかどう

かということになるのではないのでしょうか。

◎：今、制度についてと活動についての二つの意見が出たように思います。

制度については、介護保険について、利用したいサービスが用意されていない点については指摘していかなければいけないということがありました。

また、1割負担ができないという方については、制度の中で支援できる仕組みがありますので、まわりにそういった方がいれば、今すぐ、区にご相談するようお願いいただければと思います。

三つ目に、国としての考えは示されているが、区の考えはどうか、ということが出ました。

活動については、マンションについて出てきました。今回の報告程度では解決できない問題だというご指摘ですが、具体的に分科会としてどんな解決策が用意できるのか、自治会でのお祭りなどの策、地区協議会の活動など、具体的な意見を最終提言までに、分科会で検討できればと思いました。

◎：国の制度そのものに、皆さん意見があるようです。私自身、自立支援制度や障害児教育のあり方等にいろいろと意見があります。しかし、新宿区の中でどうするとは言えない部分であり、報告や提言に盛り込むには難しい部分があります。しかし区が施策を行う上で国の制度は前提としてあるわけですが、この制度に問題があれば改正が必要だと考えることは当然です。こういった点については、報告や提言とは別に意見集としてまとめるという方法もあるのではないかと思います、提言しました。

●：社会保障制度についてですが、私はナショナルミニマムの充実だと考えています。人権を第一に考え、誰もが幸せに暮らせる社会の実現ということを考えなければなりません。ぎりぎりの生活ができるということではないと思います。例えば年金の問題ですが、現在空洞化が進み、年金滞納者や未納者はこれから10年後20年後どうなるのでしょうか。国や自治体は何もしていない。ヨーロッパでは年金の保障は充実していますが、日本では充実していません。

介護保険制度が導入されたことで、応益が原則となりました。お金が無い人は使えないということです。自己責任、自助努力ということで制度を後退させている。また自己負担をこれ以上大きくしないで、社会保障制度を充実させていくことが必要だと思っています。

◎：国会答弁のようですが、非常に本質的なお話でした。

●：ささいな問題ですが、たたき台の2P目上の「障害児と暮らす家族にとって、その子を育てることは負担ではなく・・・」とありますが、ご家族にとってはこの文章は少しひっかかるものがあると思います。「障害児を育てる中で・・・」とか表現を変えていただければと思います。

◎：私も障害児を育ていますので、障害児を育てることに負担ではないわけではないことは感じています。あまりきれい事ばかりではということで。ただ表現についてはその

ように変えさせていただきます。

●：マンションの話題がありましたが、一つ私の経験を申し上げたいと思います。私はマンションに住んで今年で12年目です。はじめにマンションで自治会を作りました。町会にも加わろうと思いましたが、マンション住民にアンケートを取ったところ「町会に入ってメリットはあるのか？」と言われ、町会に入らないことになりました。

しかし、マンションとしてまとまったものを作りたいと思いましたが、自治会を作りました。また防災問題として防災に必要な乾パン等の支給ですが、区の担当者のところに行きましたが、町会単位で支給しているのでマンション単位では支給できないと言われました。

しかし、福祉の面でマンションに障害者がいらっしゃり車椅子を常備していたのですが、町会にも障害者がいらっしゃり、車椅子を貸すなどその面でも町会とつながりがありました。でもやはり、町会とマンション自治会との交流は難しいですね。

◎：時間もあまりないので、マンションの問題は次のテーマに入れていきたいと思えます。ここでの発言は中間のまとめに限定させていただきたいと思えます。

●：中間のまとめということでこの場では話し合っていますが、次のテーマにすべき問題がどんどん出てきています。中間のまとめに限定した方が良いと思えます。

○：ありがとうございます。それでは、あまりもう時間がないので後1人でお願いいたします。

●：10年度を想定してどうしていきたいのか話し合っていますが、国の方の制度や基本構想はそのまま区の枠内で話し合えという、それはしぼんでいきます。区民がどういう制度を望んでいるのか考えた場合、制度そのものを改善していかなければならないと思えます。例えば保険料はどんどん上がるし、介護する側の負担、月々15万円稼ぐだけでも大変だしその中で子供を育てたりするのは大変です。また介護の現場までの交通費は支給されない、その時間も保証されない。労働条件も低いです。我々が10年度こうしていきたいというものをもっと強く押し出していかなければならないと思えます。制度を維持して継続するだけでは、ダメなんです。もっとこうしていきたいと明確に表したものが我々の提言でなければならぬと思えます。

○：ありがとうございました。とりあえず今日のご意見を踏まえて、またまとめていきたいと思えます。世話人の方や発表の方を交えて何回かまとめまして次回の11日には発表できるようにしたいと思います。よろしく願いいたします。

3 中間発表会について

○：中間発表会のことについていくつかお話ししたいと思います。

最後に第2回全体会ということで中間発表会の通知をつけさせていただきました。

2月19日に牛込笹塚区民ホールで行います。

構成は2部構成で、第1部は各分科会の発表になります。発表の順番は、中間発表

会ワーキンググループで決めました。

12時半になりましたら休憩で第2部は午後13時半から再開です。第2部は会場に分科会ごとにブースを作って意見交換になっています。終わりの時間は区切っていませんが、1時間程度を予定しております。

2月19日の出欠の確認をしたいのですが、今の段階で欠席の方は手を挙げてください。本日出席の皆さん、参加できるということですね。

当日お願いしたいことがあります。当日受付ですが、どなたか2,3名引き受けてくださる方いらっしゃいますでしょうか。ありがとうございます。森さん、山口さん、村田さんの3名におねがいします。

また後半第2部のブースの設営は、分科会ごとに行うこととなっていますので、お願いします。また、ブースごとの意見が交換を記録しなければなりません、それは事務局側で記録いたします。

また、第2部では、他の分科会の方や区民の方に説明するために、誰かはブースにいてください。特に役割分担はしませんが、様子を見て適時交代しながらお願いします。また、ブースの後片付けもお願いいたします。今までのところで、ご質問がありますか？

●：最寄駅はどちらですか？

○：大江戸線の牛込神楽坂です。会場は駅のすぐ上になります。東西線の駅からはちょっと遠いですね。

もう一つお願いがあります。中間発表会のチラシとポスターを作成しました。このデザインは第1分科会の方の娘さんに作っていただきました。区の施設や掲示板は区が貼りますので、それ以外でポスターを貼れる所、チラシを配れる所がある方は是非チラシとポスターの配布にご協力ください。

●：区の広報には載っていますか？

○：はい、1月25日号広報に掲載しました。2月15日号にも載せる予定です。

●：発表のリハーサルは行いますか？

○：当日、会場でのリハーサルはできませんが、それぞれの分科会の中でなら出来ます。

◎：11日に時間があれば出来ると思います。

●：当日の運営はどうなっているのでしょうか？

○：事務局と各分科会の世話人の方が代表して行います。司会についても世話人の代表の方が行います。

●：2月19日以降の進め方はどうなるのでしょうか？

○：6月に最終発表があるので、それに向けて引き続き内容を深めていきたいと思えます。

また中間発表で他の分科会と意見交換しますので、それを受けて、他の分科会と一緒に検討を行うこともあるかもしれません。

●：生きがいや介護などのテーマは引き続き話し合いますか？

○：それは引き続き話し合います。

●：マンションの問題ですが、先ほど第3,6分科会とお話をしていくということもありましたが、意見や問題点をまとめたものを作ったのですが、発表の内容を考えるのに参考にしていただけないでしょうか？

○：お渡しいただければ、そのままというわけにはいきませんが、参考にさせていただきます。

◎：発表の中にもぐり込ませるとはっきりしない部分も出てきてしまうと思うので、今出てきた問題を含め、整理して意見集を作ってみようと思います。二人だけで話し合っていました、そういう努力はしてみたいと思います。

○：まだ時間もあるので、中間発表の中身ではなく、発表の仕方にアイデアのある方はいらっしゃいませんか。またパワーポイント作成のお手伝いをしてくださる方はいらっしゃいませんか。

◎：一緒にやっただき希望者がいれば、お越してください。

○：来週一度世話人の方、発表の方、パワーポイント作成の方とで中間発表に向けた打ち合わせをしたいと思います。

1月31日の午後でよろしく願いいたします。場所は区役所地下1階会議室、交流の場です。13時半から2時間程度の予定です。一緒に考えたい方は是非いらしてください。

◎：資料は当日参加者にどういうものを配られるんですか。

○：各分科会20枚以内に収めて、第1～第6分科会までまとめて閉じて一冊の資料にする予定です。

◎：パワーポイントの操作は。

○：各分科会ごとになります。

4 閉会

○：それでは、本日の第2分科会は終了したいと思います。中間のまとめについて何か意見などある方は私にご連絡ください。本日はお疲れ様でした。ありがとうございました。

<次回日程>

2月11日（土）午前10時から午後12時 新宿区役所第二分庁舎1階1-7会議室